

高浜再稼働向け説明会代役

解説ビデオ「低視聴率」

町民「専門的すぎる」

今年中の再稼働を見込む関西電力高浜原発3、4号機（高浜町）の解説ビデオが高浜町民に不評なことが分かった。町はケーブルテレビでのビデオ放映（三十一日）を地元説明会の代わりに位置づけているが、本紙が町民八十人に今週、ビデオを見たか質問したと

ころ「見た」と答えたのは十一人。見たという人からも「専門的すぎて分かりにくい」などと否定的だった。

ビデオ（約三十分）は町が原子力規制庁に制作を依頼。内容は、高浜3、4号機が新規規制基準に「適合」した審査内容の解説となっ

ており、一日六回、放送中。再稼働に関して町民から寄せられた意見を規制庁に伝達し、今月中に、質問・回答をセットで町のHPに載せることにしている。

町は「限られた時間と場所の説明会より、ビデオのほうが効率的」と利点を強調するが、十二日時点で町民から寄せられた意見や質問は数件にとどまっている。

本紙が聞いたところ、見えない理由として、五十

代女性は「関心がないわけではないが、『さあ見るぞ』という感じではない」と語った。同町音海で釣り船業を営む岡田さん（モロ）は「放射性廃棄物の処理方法も決まってる。最後まで

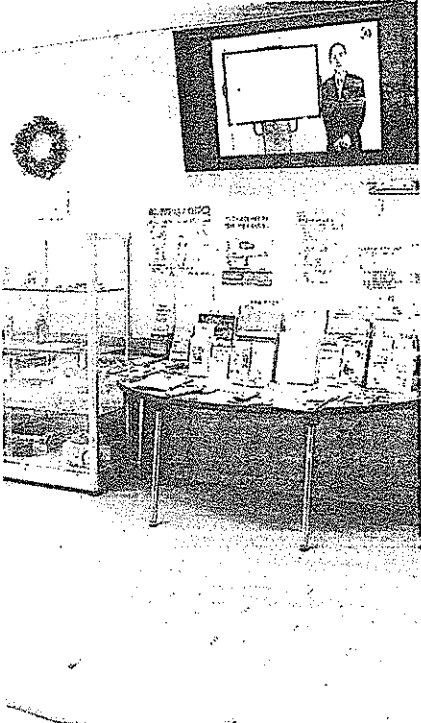
で責任も持てないのに安全審査の解説なんて」と言う。

見たと答えた人からも厳しい意見が目立った。五十代の主婦は「知識がないと、施設の名前とか機能が分からず、理解できない」と指摘。もっと分かりやすく「福島と高浜の違いを表にしてまとめてほしい」と要望した。職場でビデオを目にしたという二十代女性は「単調すぎて最後まで見るのはきつかった。要点をまとめた紙をもらったほうがいい」と内容に不満げた。

また、住民説明会を開かないことについて、六十代男性は「手間暇かかって、公民館とかで直接やりとりする場がほしかった。ビデオ放送だと一方的な感じがする」と話した。

再稼働の地元同意については、町議会が今月二十日にも議会としての判断を示すほか、野瀬豊町長は国の対応などを見て四月以降に判断することになっている。

（平井孝明）



町内の公共施設のテレビで流されていた、高浜原発3、4号機の安全審査の内容を解説するビデオ＝高浜町和田で